

# 「Lesson7 友達を助けよう！小さな医者さん」(5時間扱い)

※ 研究開発学校 小学校英語科カリキュラム 4L7

授業者 安彦有里恵・Wesley Folmar

## 1. 外国語科の目標、英語（第5学年及び第6学年）の目標・本単元の目標、育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価規準 ※平成29年度 文部科学省研究開発学校名目指定

外国語科の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
	外国語科の見方・考え方			
	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。			
外国語科の目標	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)	
	外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
研究開発指定（小学校英語科）に関して	小学校英語科の目標【第3学年から第6学年】			
	英語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の音声や基本的な表現を活用していく中で身に付けさせながら、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。			
	小学校英語科 第3学年及び第4学年の目標			
	A 聞くこと 簡単な英語を聞いて、話し手の好みなどを理解できるようにする。	B 話すこと 簡単な英語を用いて、自分の好みなどを話すことができるようにする。	C 読むこと アルファベットを読むことができるようにするとともに、身近なもの・ことを表す英語を理解し、声に出して読むことができるようにする。	D 書くこと アルファベットを正しく書き、身近なもの・ことを表す英語を見ながら書き写すことができるようにする。
○ 身近なもの・ことを表す英語：色、数、動物、野菜、食べ物、乗り物、形などの身近なもの・ものの名前、あいさつや動作を表す語句など。				
○ 簡単な英語：身近なもの・ことを表す英語に加え、自分の気持ちや考えを伝え合うための語句・表現など。				
本単元の目標・評価規準	友達の具合のたずね方や、自分の具合を伝える表現を英語でやりとりとすることができる。			
	・What's wrong?と質問の仕方や、自分の体調の答え方について、英語で聞いたり話したりすることができる。	・コミュニケーションに関心をもち、友達の具合を質問し、自分の具合を伝えることができる。 ・友達の具合に応じた絵カードやふさわしい物を選び、渡すことができる。	・英語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、友達の具合に気付き、相手の体調を考えたやりとりをしようとしている。	
	評価 1	評価 2	評価 3	

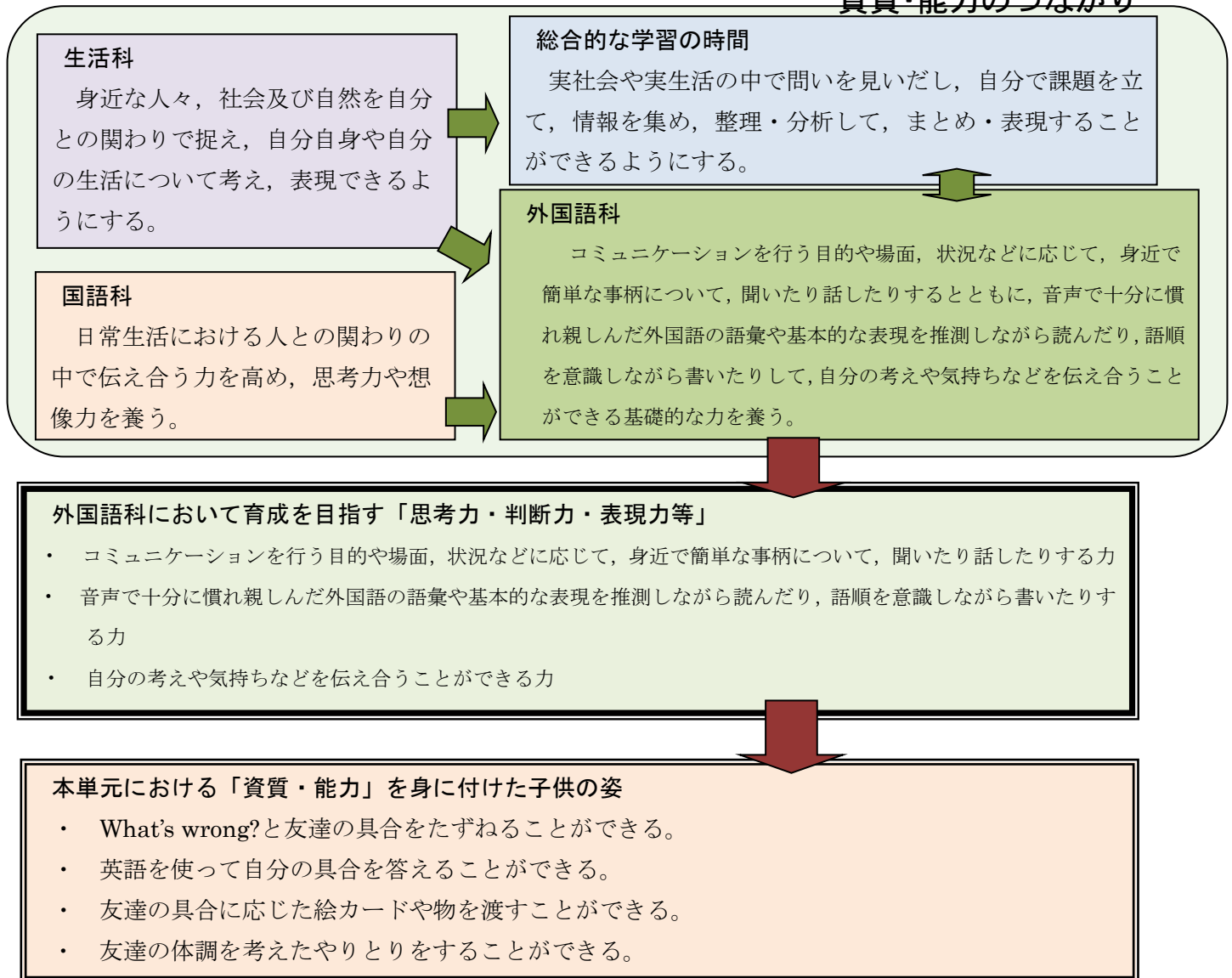
## 《単元について》

本単元では、友達の具合のたずね方や、自分の具合を伝えるための表現を身につけ、英語でやりとりすることができるようにすることを目的とした学習活動を展開する。

## 2. 研究との関わり

(1) 資質・能力の育成を支える「学びの文脈」～「思考力・判断力・表現力等」を中心として

### 資質・能力のつながり



(2) 「主体的・対話的で深い学び」を保障する手立て

- 手立て1 **振り返りを活用することにより、主体的な学習を促す**

前回の学習の振り返りを活用し、子供が成果や次のめあてを明確にできるようにする。さらに子供の必要感を見取り、弾力的に学習を展開できるようにする。

- 手立て2 必要感のある対話的な学びを促す  
 ペアやいろいろな友達と具合を質問したり答えたりする場を保证する。具合をたずねる活動を通して、英語の言い方に慣れ親しむことができ、いろいろな友達の体調に気付くことができると考える。また、友達の具合に応じてふさわしい絵カードや物を選んで渡すことで、友達の体調に配慮し、インタビューする必要感を持ちながら会話すると考えられる。
- 手立て3 warm up や学習記録などで ICT を活用する  
 warm up でチャンツや、会話のモデルを示すために ICT を活用する。パソコンを使用し、音や映像を通して、どんな場面で使われる表現かイメージできるようにする。また、友達の会話した様子を iPad で録画し、視聴することでどんなところがよかったかを知り、さらに自分の会話に活かしていけるように活用していく。

### 3. 単元のグランドデザイン

	1	2	3, 4	5 (本時)
開始期	パソコン教材による warm up			
	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           具合の尋ね方・ 答え方を学習する。         </div> What's wrong? I have a cold.などの言い方を練習する。 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">             学習課題への見通しをもつ           </div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           体のどこが痛いのか伝える言い方を学習する。         </div> My knee hurts. My leg hurts.などの言い方を練習する。	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           体調に合わせた答え方を学習する。         </div> What's wrong? I have a cold. Here is a blanket. などの言い方を練習する。	これまでの学習した言い方をふりかえる。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">             iPad で録画した学習記録の活用           </div> 前回までの子供たちの会話を動画でふりかえり、どんな会話がよいかを考える。
展開期	What's wrong? I have a cold.などの言い方をペアで練習をする。聖徳太子ゲームを行う。	ジェスチャーゲームや、かるたゲームを行う。ペアで会話の練習をする。 <div style="border: 1px dashed green; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">             表現する場を保证するペア学習や交流などの活動を設定           </div>	ペアやグループで会話の練習をし、相手の気持ちにあった絵カードを渡す。	自由交流で、具合をたずね友達の体調にあった絵カードや物を渡す活動を行う。
まとめ期	振り返りを通して、学習活動を交流する			これまでの学習をふりかえり、学習活動や学習成果を交流し、生活の中でどんな場面に活かそうか考える。

#### 4. 本時案

学習活動 (○) と子どもの姿		教師の支援 (☆) と評価 (◇)				
<p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達に具合をたずねて、答えてもらった具合にあわせて絵カードや物を渡すことができる。</li> </ul>						
<p>○ warm up を行う。</p> <p>○ 聖徳太子ゲームを行う。</p> <p>○ 前回まで学習したことを振り返る。</p> <p>○ 動画で友達の会話を見て、よかったところを振り返る。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">相手の目を見て会話しているね。</td> <td style="width: 50%;">あいさつをできていいね。</td> </tr> <tr> <td>相手の具合にあったカードをわたしていいね。</td> <td>カードをもらった人が Thank you といっているところがいいね。</td> </tr> </table> <p>○ 学習の見通しを立てる。</p> <p>これまで学習したことをもとに、いろんな友達と会話したいな。</p>		相手の目を見て会話しているね。	あいさつをできていいね。	相手の具合にあったカードをわたしていいね。	カードをもらった人が Thank you といっているところがいいね。	<p>☆ 具合をたずねる言い方と答え方を思い出すことができるよう、掲示物などを見ながらこれまでの学習を振り返る。</p> <p>☆ <u>友達の会話のよかった所を明確にし、これからの学習に活かすことができるよう、前時の学習活動の動画を視聴する。</u></p> <p style="text-align: right;">【手立て3】</p> <p>☆ <u>子供たちの振り返りの言葉から、課題を設定し、より自主的に課題に取り組めるようにする。</u></p> <p style="text-align: right;">【手立て1】</p>
相手の目を見て会話しているね。	あいさつをできていいね。					
相手の具合にあったカードをわたしていいね。	カードをもらった人が Thank you といっているところがいいね。					
<p>○ 本時の課題について考える。</p> <p style="border: 2px solid orange; padding: 2px;">ナイスドクターになって、友達を助けよう。</p> <p>○ 友達の具合を聞いて、具合にあう絵カードや物を渡す活動を行う。</p> <p>S1: What's wrong? S2: I have a cold. S1: (絵カードや物を選んで) Here you are. Take care. S2: Thank you. See you.</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">友達の具合を聞いて、絵カードをわたすことができたよ。</td> <td style="width: 50%;">絵カードをわたしたら Thank you. と言ってくれたよ。</td> </tr> </table>		友達の具合を聞いて、絵カードをわたすことができたよ。	絵カードをわたしたら Thank you. と言ってくれたよ。	<p>◇ コミュニケーション活動を通して、友達の具合を意欲的に聞いたり、相手の具合にあう絵カードや物を渡したりしている。</p> <p style="text-align: right;">評価 2</p> <p>☆ <u>友達の具合を質問し、具合にあわせた絵カードや物を用いて渡すことが意欲的に行われるよう、交流の場を設定する。</u></p> <p style="text-align: right;">【手立て2】</p> <p>☆ <u>たくさんの友達との会話を意欲的にできるように、交流のルールや目的をもたせて取り組むようにする。</u></p>		
友達の具合を聞いて、絵カードをわたすことができたよ。	絵カードをわたしたら Thank you. と言ってくれたよ。					
<p>○ ふりかえりカードに記入し、交流する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">体調を聞いたり、答えたりする言い方がわかった。</td> <td style="width: 50%;">いろいろな友達と会話できて楽しかった。</td> </tr> <tr> <td>英語で友達の体調を質問したり答えたりすることができた。</td> <td>将来、外国の人に体調をきいて助けてあげられるといいな。</td> </tr> </table>		体調を聞いたり、答えたりする言い方がわかった。	いろいろな友達と会話できて楽しかった。	英語で友達の体調を質問したり答えたりすることができた。	将来、外国の人に体調をきいて助けてあげられるといいな。	<p>☆ <u>達成感や有用感を感じられるよう、振り返りの場面で、課題と照らし合わせた学習の成果のフィードバックを行う。</u></p> <p style="text-align: right;">【手立て1】</p>
体調を聞いたり、答えたりする言い方がわかった。	いろいろな友達と会話できて楽しかった。					
英語で友達の体調を質問したり答えたりすることができた。	将来、外国の人に体調をきいて助けてあげられるといいな。					